

〔No. 13〕

既知点 A 及び既知点 B から新点 P の標高を求めるため、公共測量における 1 級水準測量を行い、表 13－1 の結果を得た。標尺補正を行った後の新点 P の標高の最確値は幾らか。最も近いものを次の 1 ～ 5 の中から選べ。

ただし、既知点 A 及び既知点 B の成果表の標高は表 13－2 のとおりであり、この観測で使用した標尺の標尺改正数は 20°C において $+5.0\text{ }\mu\text{m/m}$ 、膨張係数は $+1.0 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ である。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

表 13－1

観測区間	観測距離	標尺補正前の観測高低差	観測時の平均気温
A → P	1 km	−69.4635 m	27 °C
P → B	2 km	+49.1848 m	27 °C

表 13－2

既知点	標高
A	199.838 m
B	179.553 m

1. 130.3696 m
2. 130.3704 m
3. 130.3707 m
4. 130.3717 m
5. 130.3727 m